

チャイルド&amp;ジュニアシート

# フォームフィット ISOFIX 360°セーフティー

formfit ISOFIX 360° safety

## 取扱説明書／保証書

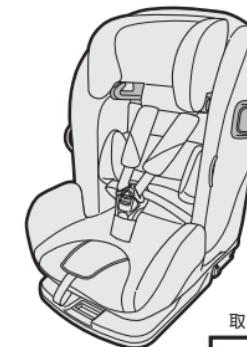
本製品は、**身長76cmから135cmまでのお子さま用**です。  
**ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した車に使用できます。**  
**但し、ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した全ての車に取り付けられるものではありません。**  
**取り付ける前に必ず車種適合表をご確認ください。**

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
**ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。**  
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**  
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。  
**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**

**UN ECE-R129/03適合 アイサイズ改良型幼児拘束装置  
アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置**

取り付け方法	お子さまの条件
チャイルドシートモード	身長:76cmかつ月齢15カ月以上～105cm
ジュニアシートモード	身長:100cm～135cm

※チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さまには使用できません。



ご使用前に &lt;P2&gt;

取り付ける前に &lt;P22&gt;

車への取り付け &lt;P25&gt;

チャイルドシートモード &lt;P39&gt;

ジュニアシートモード &lt;P43&gt;

お手入れ &lt;P49&gt;

その他 &lt;P53&gt;

保証書 &lt;P58&gt;

&lt;お願い&gt;

### 〈重 要〉ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。  
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社  
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155  
受付時間: AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

# もくじ

もくじ

## ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
シートベルトの条件	15
ご使用上の注意	17
日常の点検	21

## 取り付ける前に

リクライニングのしかた	22
パッドの使いかた	23

## 車への取り付け

取り付け準備	25
取り付けかた	27
取り付け後の確認	33
車からの取り外しかた	34
肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた	37
肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安	38

## チャイルドシートモード

お子さまの乗せかた	39
使用時の確認	42

## ジュニアシートモード

肩ハーネス・バックルの収納	43
お子さまを乗せる準備	45
お子さまの乗せかた	46
使用時の確認	48

## お手入れ

シートカバーの取り外しかた	49
シートカバーの取り付けかた	51
お手入れ／保管／廃棄のしかた	52

## その他

困ったときには	53
保証について	55
アフターサービスについての連絡先	56
MEMO	57

## 保証書

保証書	58
-----	----

# ご使用前に

## チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE 規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。
- 〈中古品のご使用について〉
  - ・前の使用者の使用履歴が分からぬ場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
  - ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

## 本書の表示について

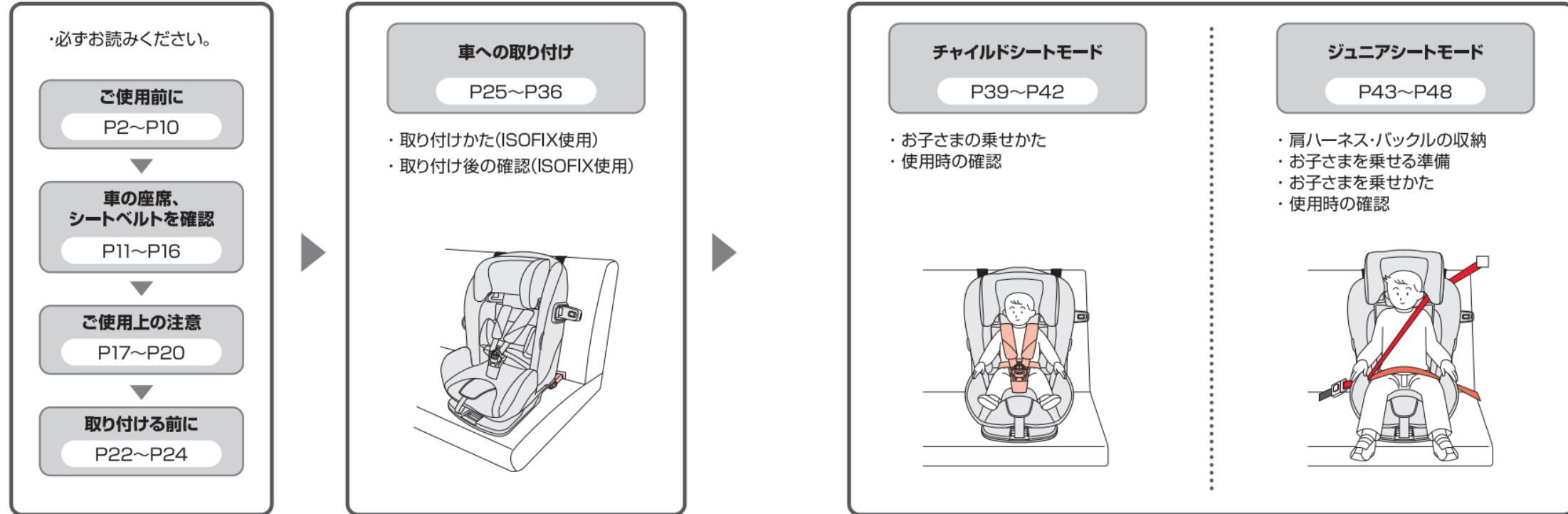
「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

 製品の取扱いにおける禁止行為です。

 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

# 取り付ける手順



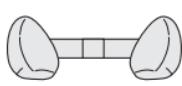
# 各部のなまえ

## 梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

### 〈パッド〉(P23~P24参照)

・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

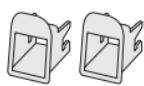


サイドサポートクッション  
(使いかたはP23参照)



肩パッドカバー  
(使いかたはP23参照)

### 〈付属品〉



ガイドキャップ(2個)  
(使いかたはP27参照)



フィットスペーザー  
(使いかたはP30参照)



取扱説明書  
(本書)

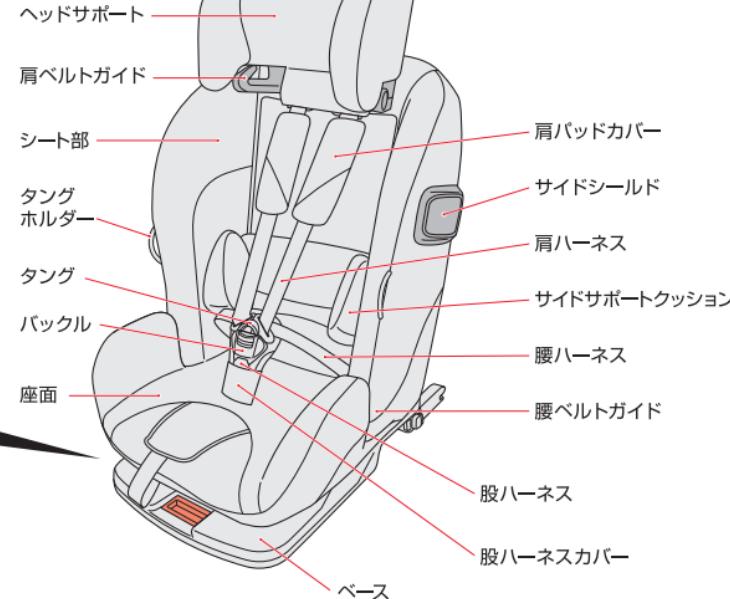
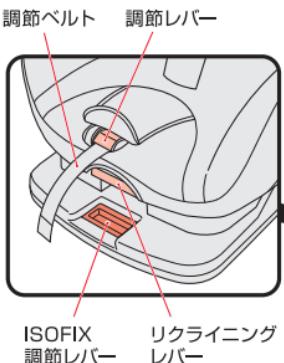
### 〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。

安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一ヶ月以内に必ず登録をお願い致します。

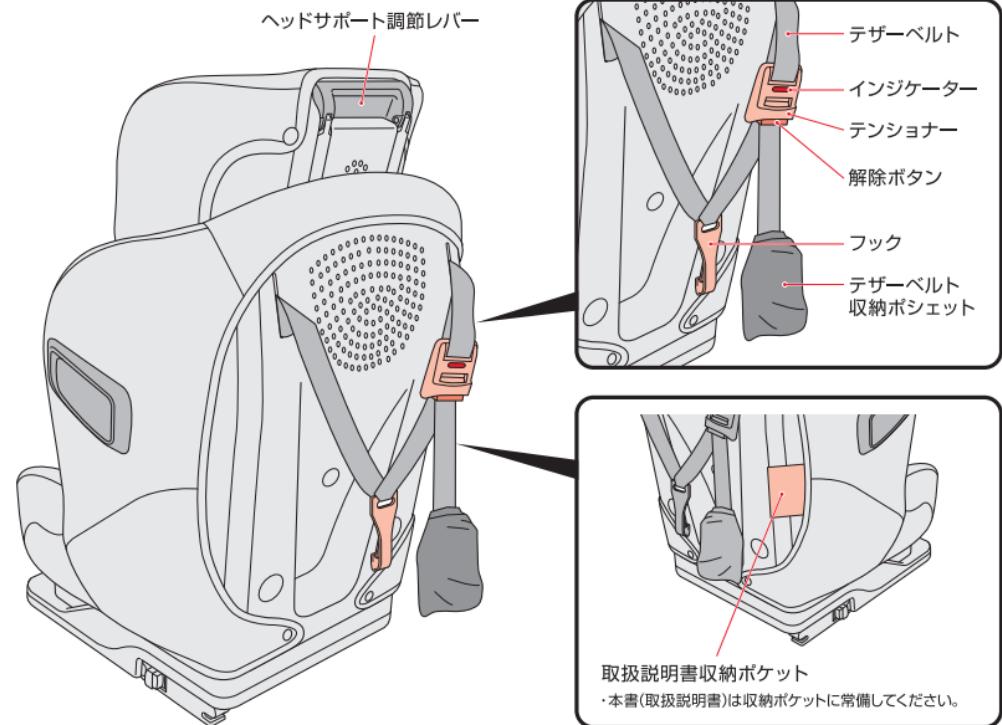
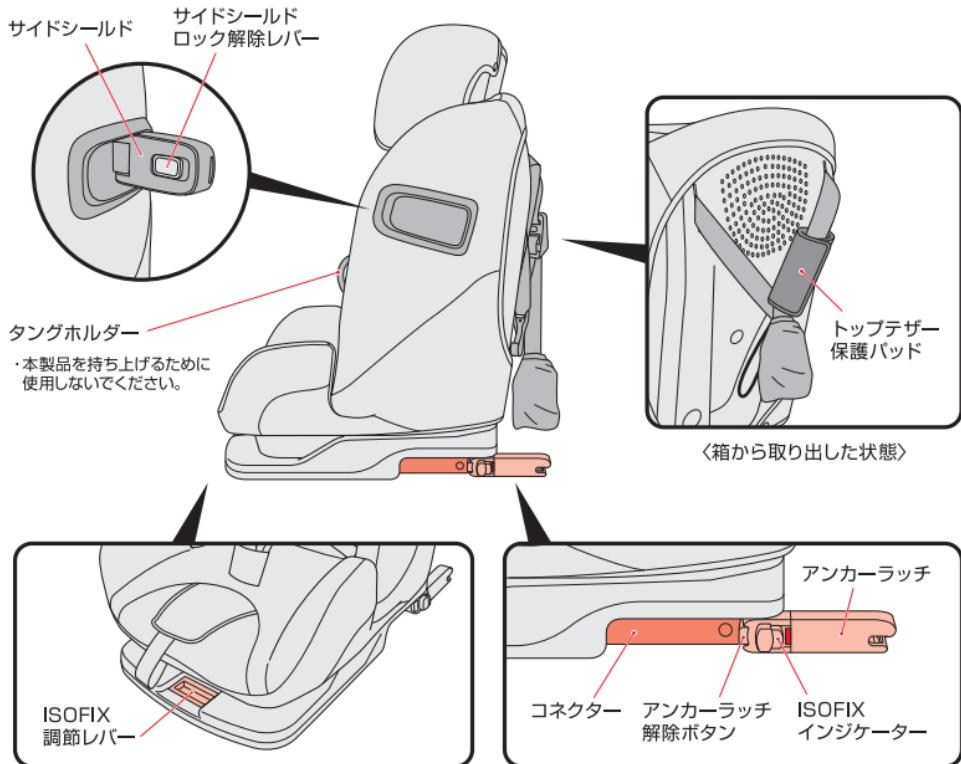
弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

お客様情報登録



# 各部のなまえ

使用前に



# お子さまの条件

- 下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
- 参考年齢と参考体重は目安です。お子さまの身長に合わせてご使用ください。



危険

- 条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの身長に合わせて、2通りの使いかたがあります。

## チャイルドシートモード

身長 76cmかつ月齢15カ月以上～105cm

※月齢15カ月を超えるまでは使用できません。  
※チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さまには  
使用できません。

参考年齢：15カ月～4歳頃

参考体重：9kg～19.5kg

- ISOFIXで取り付け。
- トップテザー使用。
- 肩ハーネス、腰ハーネスで拘束。
- サイドサポートクッション使用。



衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・月齢15カ月を超えるまでは使用しない。  
・チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さま  
には使用しない。



## ジュニアシートモード

身長 100cm～135cm

参考年齢：4歳頃～10歳頃  
参考体重：15kg～36kg

車の座席に合わせ、次の〈A〉、〈B〉いずれかの方法で取り付けます。  
(P45参照)

〈A〉

- ISOFIXで取り付け。
- トップテザー使用。
- 車のシートベルトで拘束。  
(肩ハーネス、バックルを収納)
- サイドサポートクッション  
使用不可。

〈B〉

- ISOFIX収納。
- トップテザー収納。
- 車のシートベルトで拘束。  
(肩ハーネス、バックルを収納)
- サイドサポートクッション  
使用不可。



# 座席の条件

本製品は次の条件を満たす座席に取り付けできます。

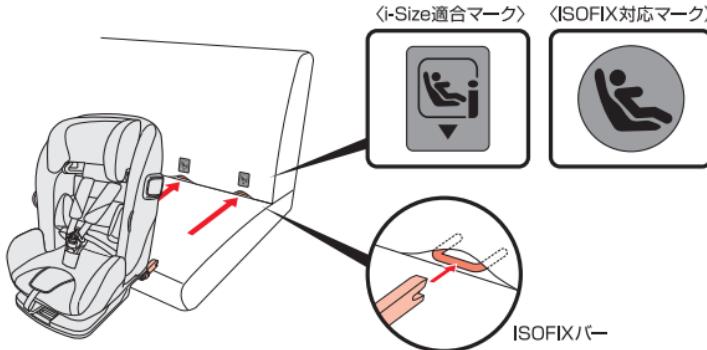
## 車の取扱説明書に **i-Size適合、ISOFIX対応** の表記や、下記のマークがある座席。

※本製品は、**アイサイズ改良型幼児拘束装置(ISO/F2X)、アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置(ISO/B2)**です。本製品は、車メーカーによって車の取扱説明書に表示されているアイサイズ適合車両着席位置で使用するものとして、UN規則 No.129 に従って認可されています。ご不明な点がございましたら、弊社お客様サポートセンター(P56参照)または販売店にお問い合わせください。

### 車への取り付け時の注意

#### ・車種適合および車の取扱説明書の確認

本製品はISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIXバーを装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合表と車の取扱説明書をご確認ください。  
※車種適合表につきましては、アプリカホームページ「<https://www.aprica.jp/>」で最新版がご覧になります。



### ・取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできますが、運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。
	前座席：エアバッグを装備している	やむを得ず前座席に取り付ける場合は、シートをいちばん後ろに下げてください。
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバックのみの座席には取付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

：このマークのある座席には取り付けないでください。



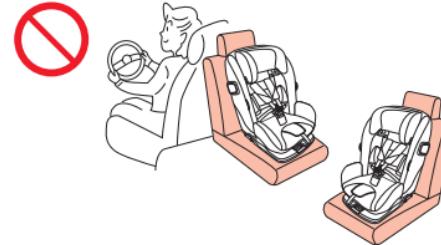
# 座席の条件

## 〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

・ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する座席。



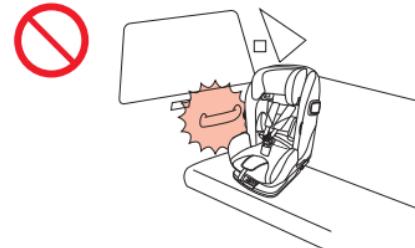
・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・本製品が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



## 〈取り付けできない座席〉・座席の形状

・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。

(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など)



・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)



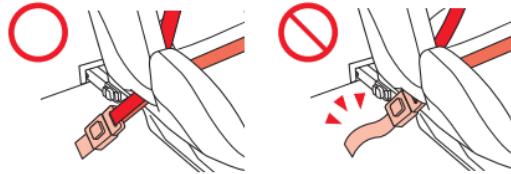
# シートベルトの条件

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

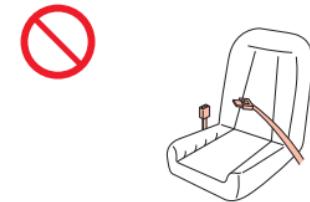
## 〈シートベルトバックルの正しい位置〉

・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。  
・右図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P56参照)



## 〈使用できないシートベルト〉

・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・バシッシュシートベルトの座席。  
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかりと取り付けできない座席。



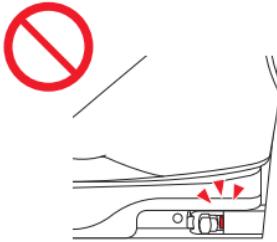
# ご使用上の注意



**誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

- ・身長76cm未満及び135cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・月齢15ヶ月を超えるまでは使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。(ISOFIX使用の場合)  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷があるときはジュニアシートモードで使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



**誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。  
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



# ご使用上の注意

## ⚠ 警告

### 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にハーネス調節、リクライニングなどの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルや可動部に水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・弊社指定アクセサリー以外のものを使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。**ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。**寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。

## ⚠ 注意

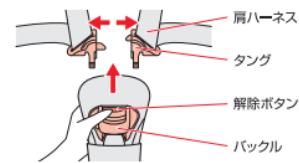
### 誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
- ・本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシートレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。
- ・チャイルドシートを周囲のものにぶつけない。

## 緊急時のお子さまの降ろしかた

### 緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



### バックルからタングが抜けない時は…

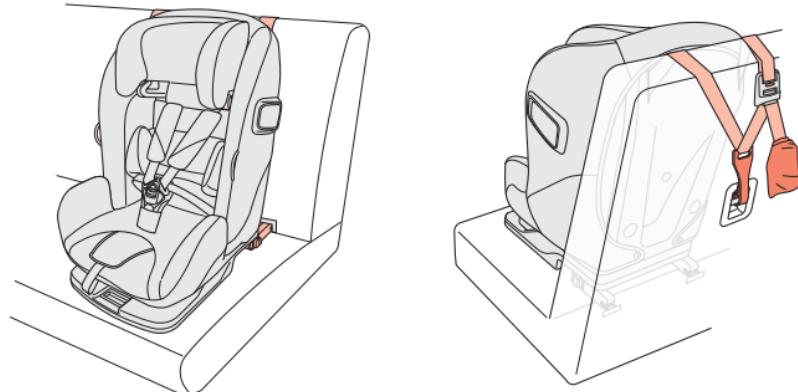
- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



# 日常の点検

## ・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。



### 〈取り付け後の確認〉(P33参照)

- ・テザーベルトのフックが確実に固定され、テンショナーのインジケーターが「緑色」になっている。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
- ・ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。(左右)
- ・座席の背もたれにベースが接している。
- ・左右のコネクターが同じ長さになっている。

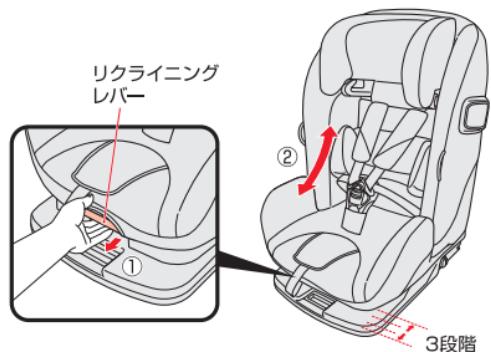
# リクライニングのしかた

## ・3段階に角度を調節することができます。

製品を箱から取り出した際には、1段目にセットされています。必要に応じて角度を調節してください。

1

- ①リクライニングレバーを手前に引きながら、
- ②シート部のリクライニング角度を調節し、リクライニングレバーから手を離す。



2

- ③座面部を前後に動かし、ロックされていることを確認する。



取り付ける前に



- ・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。
- ・水やジュース、泥水、ごみなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



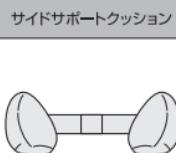
- ・リクライニングレバーから手を離さないとロックされません。



- ・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・車の走行中にベルト調節やリクライニングなどの操作を行わない。

# パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

使用モード	○:必ず取り付けてください。 ○:取り外し可能です。 ⓧ:必ず取り外してください。	サイドサポートクッション	肩パッドカバー
			
チャイルドシートモード	身長 76cm~105cm	○	○
ジュニアシートモード	身長 100cm~135cm	ⓧ	ⓧ



衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・パッド類は本製品の専用品であるため、他の製品には使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。

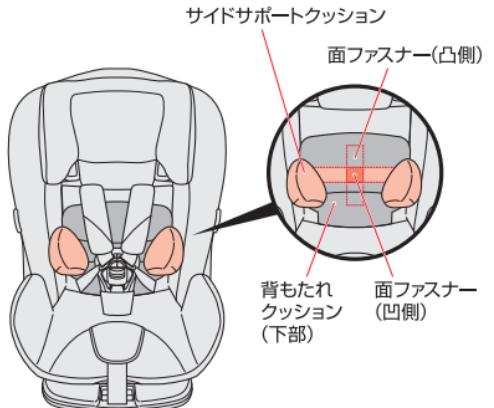


- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。
- ・パッド類をなくさないよう注意してください。

1

## 〈サイドサポートクッションの取り付け・取り外し〉

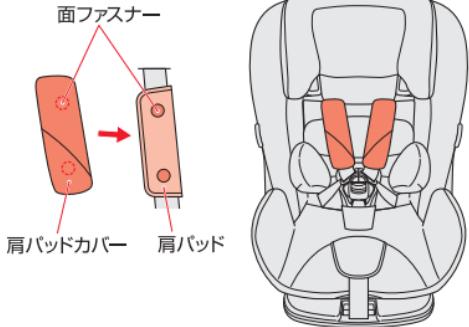
- ①サイドサポートクッションの面ファスナーを背もたれクッション(下部)裏側の面ファスナーにとめる。



2

## 〈肩パッドカバーの取り付け・取り外し〉

- 肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付ける。
- 取り付け後は肩パッドカバーが確実に取り付けられていることを確認する。



取り付ける前に



サイドサポートクッションは、お子さまの体が左右に倒れないように体幹をサポートします。お子さまの体格に合わせて面ファスナーの取り付け位置を変更し高さを調節してください。



- ・肩パッドは取り外せません。

# 取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。  
詳しくはP11～P16を参照してください。

## 危険

・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

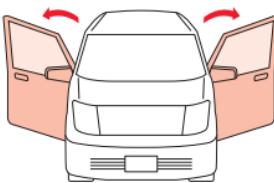
## 警告

・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

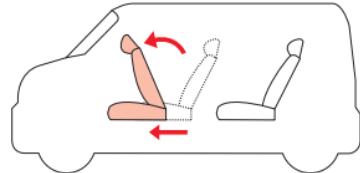
## 1

### 〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



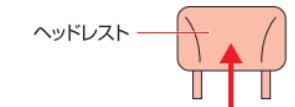
②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



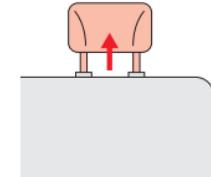
## 2

### 〈取り付ける座席の準備〉

・ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。  
・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



ヘッドレストが取り外せない場合は、一番上まで上げる。



車への取り付け

## 警告

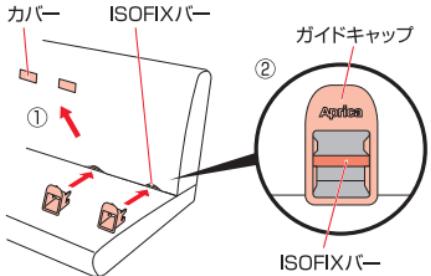
・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。  
・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。  
衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。



# 取り付けかた

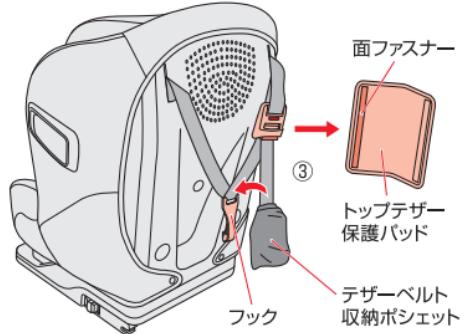
- ・本製品は、車への取り付けが完了した後で、お子さまの身長に合わせてご使用ください。
- ・右のQRコードから取り付け動画をご覧いただけます。本書の補足としてご覧ください。

- 1** ①ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを取り外す。(左右)  
②ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み、取り付ける。(左右)



- アドバイス**  
・ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、付属のガイドキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車のシートによってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

- 2** ③トップテザー保護パッドを取り外し、フックをテザーベルト収納ポシェットから出す。



- 注意**  
・取り外したトップテザー保護パッドはトランクルームやカーゴルームなどに保管すること。

取り付け動画



- 3** ④本体を車の座席にのせる。  
⑤テザーベルトを座席の後方に引き出す。

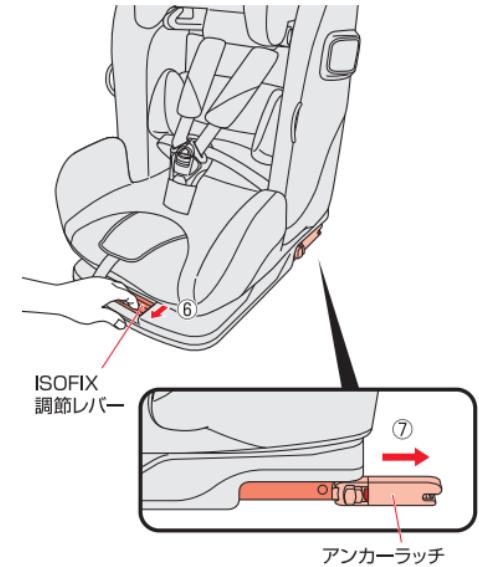


- アドバイス**  
・車にトノカバーなどが装備されていて、トップテザーベルトが後方へ引き出せない場合は、座席を前側に倒してください。詳しくは車の取扱説明書をよくお読みください。

- ・チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。

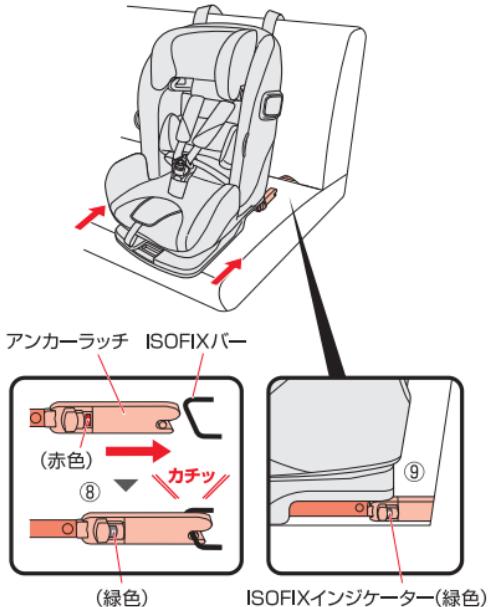
- ・シート保護マットは、本製品をISOFIXで取り付ける場合のみ使用可能です。

- 4** ⑥ISOFIX調節レバーを引きながら、  
⑦左右のアンカーラッチを最後まで後方に引き出す。

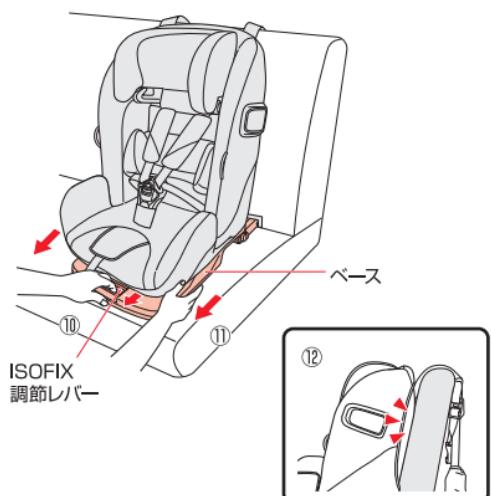


# 取り付けかた

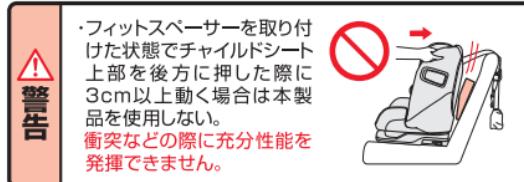
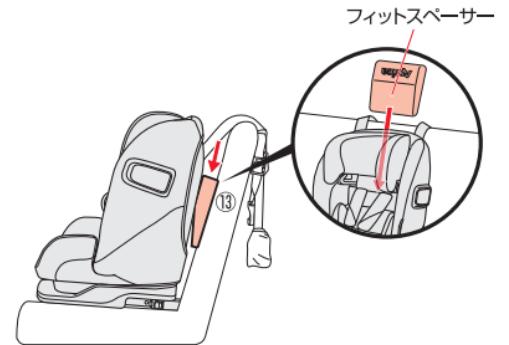
- 5** ⑧左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を押し込む。  
⑨左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



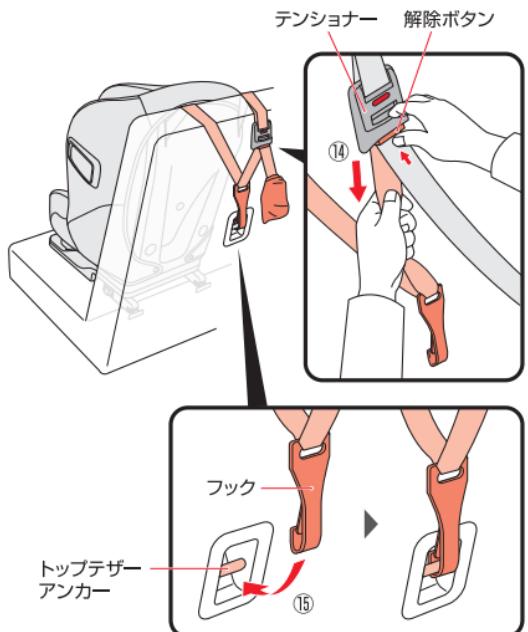
- 6** ⑩ISOFIX調節レバーを引きながら車の座席の背もたれに接するまでベースを押しつける。  
⑪ISOFIX調節レバーから指を放し、調節レバーが戻っていることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。  
⑫リクライニングが出来る座席の場合は、座席の背もたれとチャイルドシート上部が接するように調節する。



- 7** <フィットスペーサーを取り付ける>  
⑯リクライニングが出来ない座席の場合で、座席の背もたれとチャイルドシート上部に隙間が生じる場合はフィットスペーサーを取り付ける。  
・フィットスペーサーはテザーベルトに干渉しない位置まで下げてお使いください。



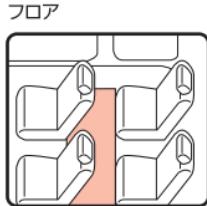
- 8** ⑭テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトをゆるめる。  
⑮トップテザーアンカー(シート背面)にフックを固定する。



# 取り付けかた

## 〈トップテザーアンカー位置〉

トップテザーアンカーとは、テザーベルトのフックを固定するために、車の座席の背もたれに装備された金具(リバー)です。トップテザーアンカーの名称や位置は車により異なる場合がありますので、必ず車の取扱説明書を確認してください。

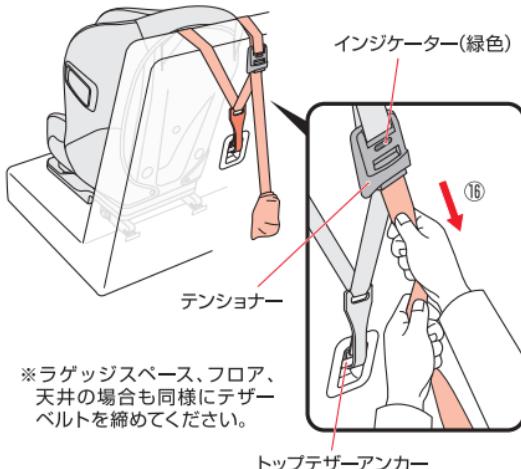


## 〈テザーベルトの締め方〉

9

⑯テンショナーのインジケーターが緑色になるまでテザーベルトを強く締める。

### ・トップテザーアンカーがシート背面の場合

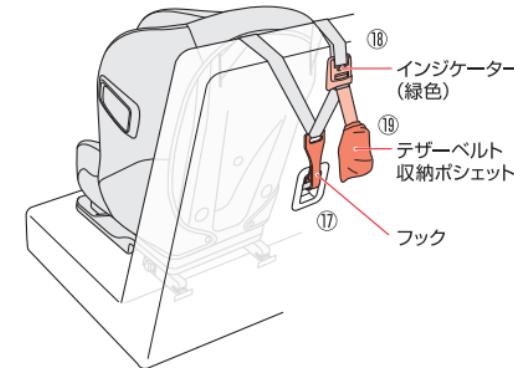
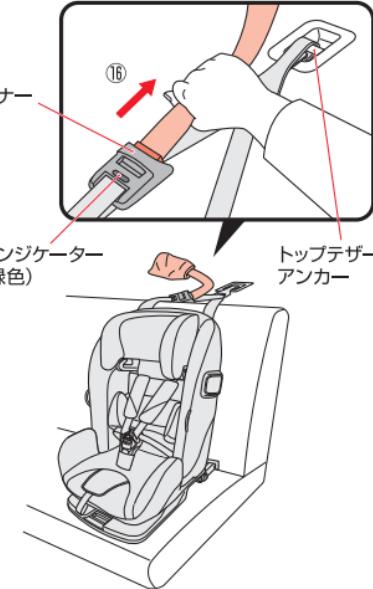


・トップテザーベルトを引っ張る方向はトップテザーアンカーの位置によってことなります。

### ・トップテザーアンカーがリアバーセルシェルフの場合

10

⑰テザーベルトのフックが確実に固定されていることを確認する。  
⑯インジケーターが緑色であることを確認する。  
⑯あまたテザーベルトをテザーベルト収納ポケットに収納する。



・取り付け完了後、テンショナーの解除ボタンやフックなどを他のお子さまに触らせない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

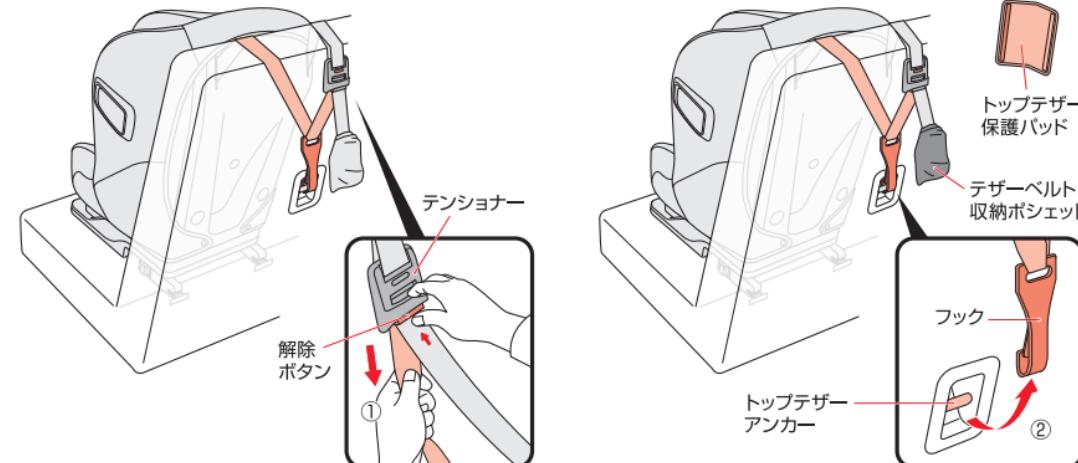
## 取り付け後の確認

- 取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかりと固定されていることを必ず確認する。  
しっかりと固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



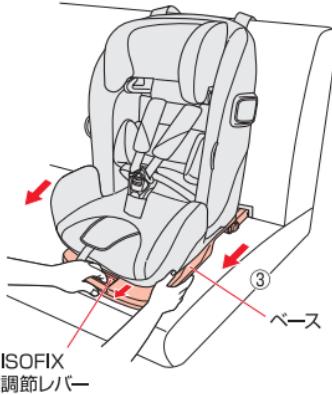
## 車からの取り外しかた

- ①テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトを緩める。
- ②テザーベルトのフックを取り外す。
  - ・テザーベルトとフックをテザーベルト収納ポケットに収納する。
  - ・テンショナーにトップテザー保護パッドを取り付ける。

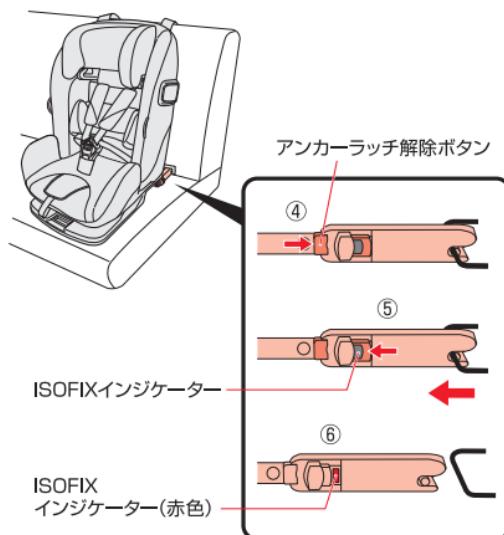


# 車からの取り外しかた

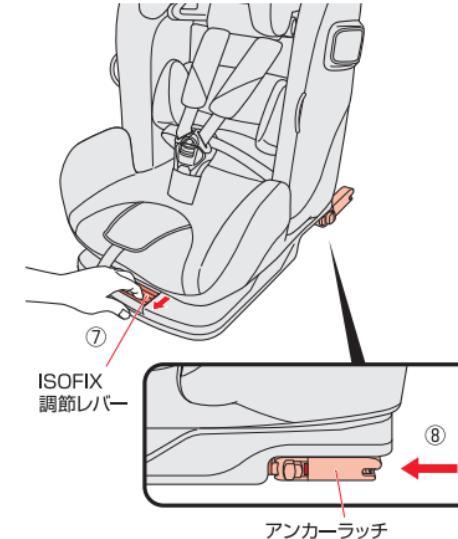
3 ③ISOFIX調節レバーを引きながら、ベースを手前に引く。



4 ④アンカーラッチ解除ボタンを押しながら、  
⑤ISOFIXインジケーターを押し込み、ベースをまっ  
すぐ手前に引き、解除する。  
⑥ISOFIXインジケーターが「緑色」から「赤色」  
になったことを確認する。  
※片方ずつ左右共行ってください。



5 ⑦ISOFIX調節レバーを引きながら、  
⑧左右のアンカーラッチを収納する。



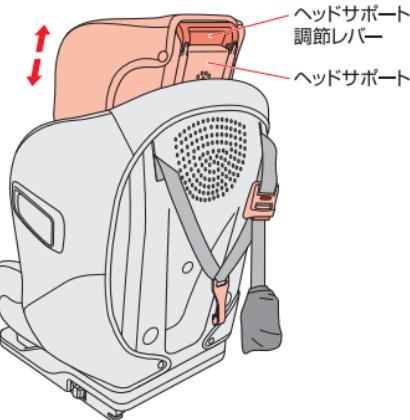
6 ⑨ISOFIX調節レバーから指を放し、調節レバー  
が戻りアンカーラッチが動かないことを確認  
する。



## 肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた

・肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)は、9段階に調節できます。

1



警告

- ・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意する。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

2



③ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。



ヘッドサポートの上下の動きに連動して背もたれの横幅が変わります。  
・ヘッドサポートを上げると横幅が広くなります。  
・ヘッドサポートを下げるとき幅が狭くなります。

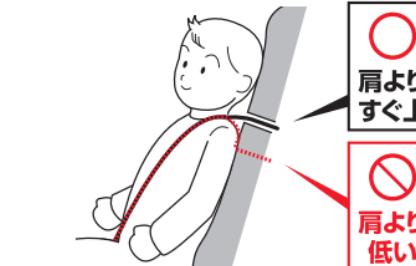
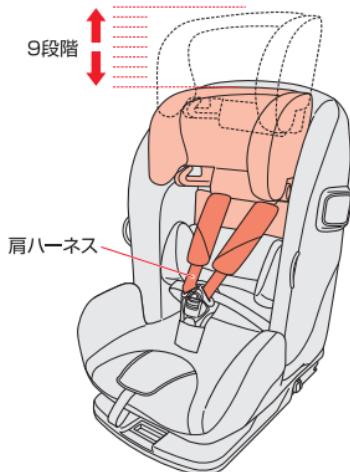


## 肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安

・お子さまの体格に合わせて、正しい肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)に調節してください。

※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。

・肩よりすぐ上の肩ハーネス位置を使用する。



車への取り付け

肩よりすぐ上

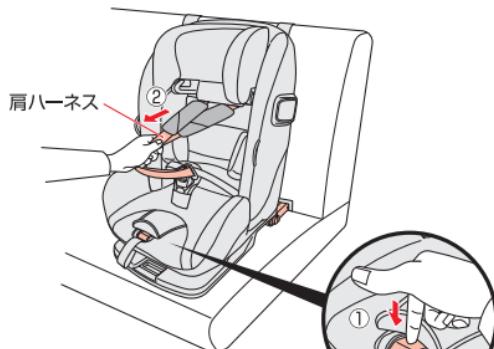
警告

・お子さまの肩より低い肩ハーネス位置を使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

# 〈チャイルドシートモード〉お子さまの乗せかた

## 1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドカバーより下の肩ハーネスを引く。)

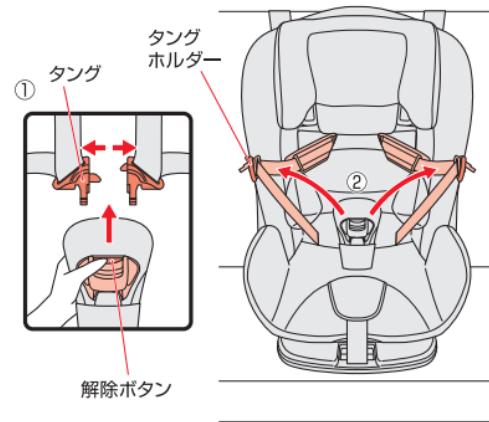


・肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。  
・重く感じる場合は、片方ずつ引っ張ってください。



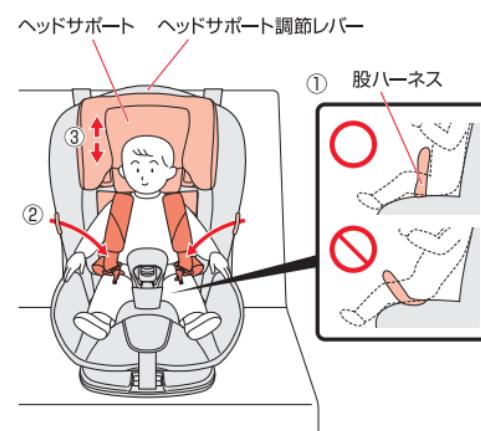
## 2 〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。



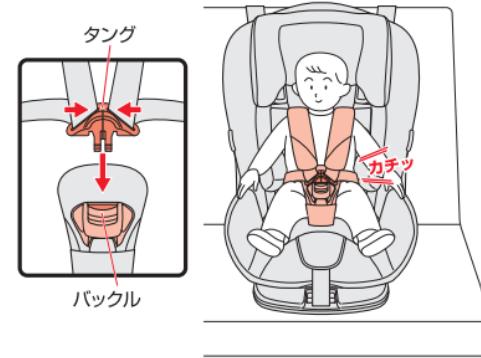
## 3 〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。
- ③肩ハーネスの位置を合わせる。(P37~38参照)



## 4 〈タングを差し込む〉

- 左右のタングを組み合わせ「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



チャイルドシートモード



・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをするおそれがあります。  
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を發揮できません。

## 〈チャイルドシートモード〉お子さまの乗せかた

5

### 〈肩ハーネスを調節する〉

- ①調節ベルトの面ファスナーを外し、調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。  
(ゆるめる場合は、P39を参照してください。)
- ②調節ベルトの面ファスナーをとめる。



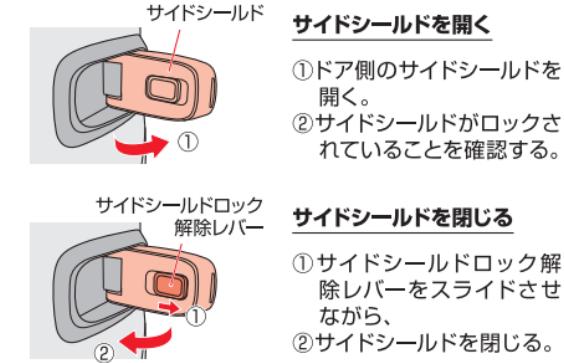
警告

- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

6

### 〈サイドシールドの開閉〉

- ※本製品はUN ECE-R129の認可を受けており、サイドシールドの開閉に関わらず安全にご使用いただけます。  
※サイドシールドをご使用になる場合は、ドア側のみを開いてください。



警告

- ・サイドシールドの操作時は、お子さまの手や指を近付けない。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。  
・車内側のサイドシールドを必ず閉じること。思わず重傷を負う可能性があります。

注意

- ・ドア側のサイドシールドが車のドアトリムなどに干渉する場合は、サイドシールドを閉じてください。

## 〈チャイルドシートモード〉使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P39～P41の手順をやり直してください。

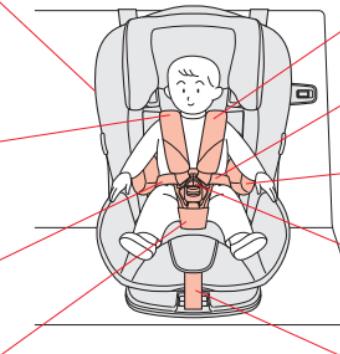
車内側のサイドシールドを開じていること。



肩ハーネスは肩よりすぐ上の肩ハーネス位置を使用していること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないこと。



肩パッドカバーを取り付けていること。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれ、ゆるみがないこと。

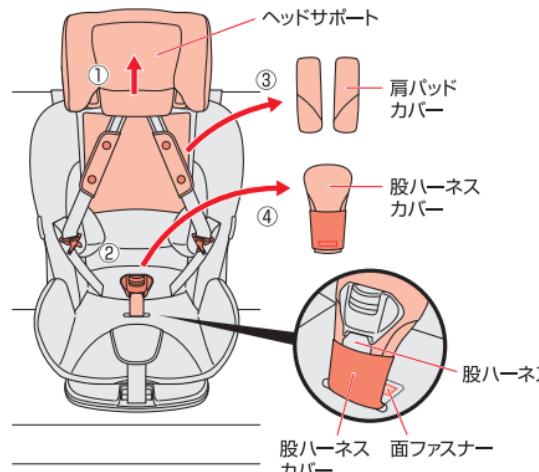
サイドサポートクッションで腰周りが支えられていること。

タングがバックルに差し込まれていること。

調節ベルトの面ファスナーをとめていること。

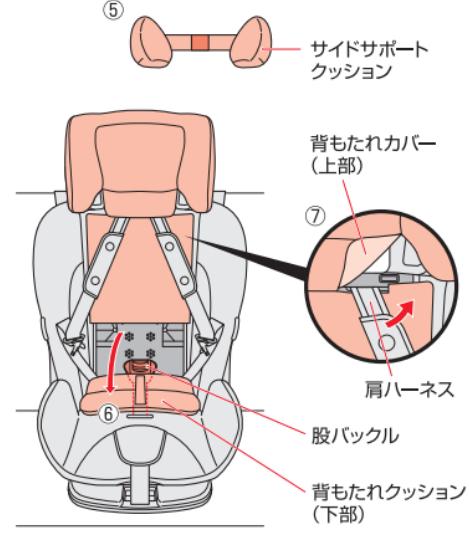
# 〈ジュニアシートモード〉肩ハーネス・バックルの収納

- 1 ①ヘッドサポートを一番上まで上げる。(P37参照)  
②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。  
③肩パッドカバーを取り外す。(P24参照)  
④股ハーネスカバーから股ハーネスを抜き、面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。

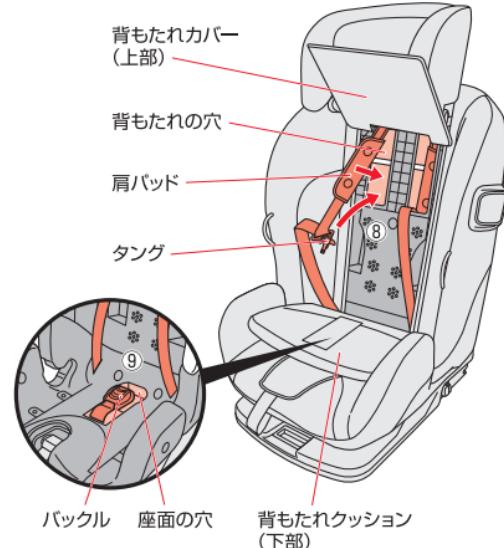


・取り外した肩パッドカバー、股ハーネスカバー、サイドサポートクッションは大切に保管すること。チャイルドシートモードで使用する場合には必要になります。

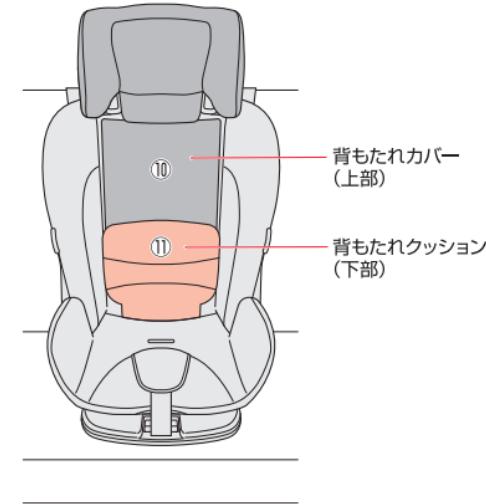
- 2 ⑤サイドサポートクッションを取り外す。(P24参照)  
⑥背もたれクッション(下部)をめくり、股バックルを座面から抜く。  
⑦背もたれカバー(上部)をめくり、肩ハーネスを背もたれカバーから抜く。(左右)



- 3 ⑧背もたれカバー(上部)をめくり、タングと肩パッドを背もたれの穴に収納する。(左右)  
⑨背もたれクッション(下部)をめくり、バックルを座面の穴に収納する。



- 4 ⑩背もたれカバー(上部)を戻す。  
⑪背もたれクッション(下部)を戻す。



## 〈ジュニアシートモード〉お子さまを乗せる準備

お子さまを乗せる前に確認してください。

- ・ISOFIXでチャイルドシートを取り付けた状態で、シートベルトのバックルにタングを差し込むことができる。



お子さまの乗せかたの手順 1 に進んでください。

- ・ISOFIXでチャイルドシートを取り付けた状態で、シートベルトのバックルにタングを差し込むことができない。



次の手順を実施してください。

- ①チャイルドシートを車の座席から取り外す。(P34~36参照)
  - ・アンカーラッチ、テザーベルト、フックを収納
  - ・テンショナーへのトップテザー保護パッド取り付け
  - ・「シート保護マット」をご使用の場合は取り外す
- ②チャイルドシートを車の座席に乗せ、シートベルトのバックルがかくれないよう、また、座席の背もたれとチャイルドシートの背もたれのすき間がなくなるよう位置を調節する。
- ③シートベルトのタングをバックルに差し入れることを確認する。

お子さまの乗せかたの手順 1 に進んでください。



- ・お子さまが乗っていないときでもチャイルドシートをシートベルトで固定する。急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。



## 〈ジュニアシートモード〉お子さまの乗せかた

1

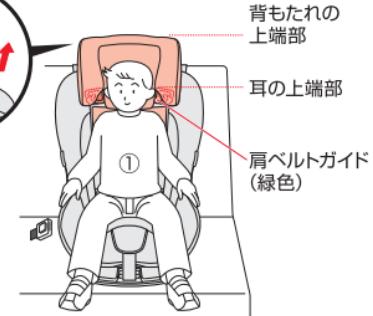
### 〈ヘッドサポートの調節〉

- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節する。

ヘッドサポート調節レバー

②

〈背面図〉



2

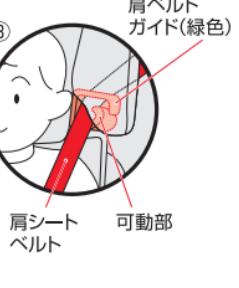
### 〈肩シートベルトを通す〉

- ③肩ベルトガイド(緑色)の可動部を下げ、肩シートベルトを通す。



○ 肩より高い

× 肩より低い



肩ベルトガイド(緑色)

肩シートベルト  
可動部



- ・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートのヘッドサポートの上端部より下になること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



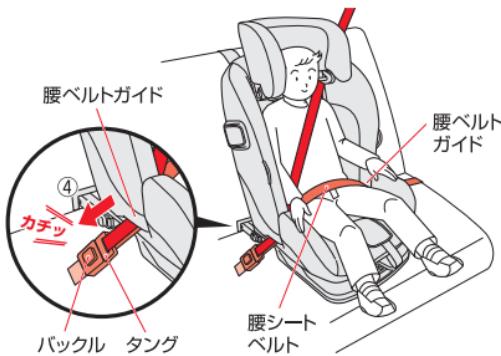
- ・肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・肩ベルトガイド(緑色)がお子さまの肩より高い位置にすること。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

## 〈ジュニアシートモード〉お子さまの乗せかた

3

### 〈腰シートベルトをとめる〉

- ④腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
- ⑤シートベルトのタングをバックルに差し込む。



危険

- ・バックルの長さがベルトガイド位置より長い座席には本製品を取り付けれない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- 

ご不明の場合は弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。(P56参照)

4

### 〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑥腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。
- ⑦ドア側のサイドシールドを開く。(P41参照)



警告

- ・腰シートベルトにねじれがないこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈ジュニアシートモード〉使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P46～P47の手順をやり直してください。

お子さまの耳の上端部がチャイルドシートのヘッドライトサポートの上端部より下になっていること。

肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



車内側のサイドシールドを開じていること。

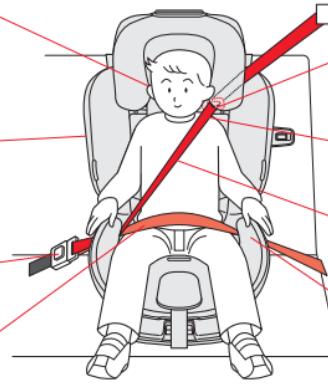
肩シートベルトがお子さまの肩にかかっていること。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがないこと。(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

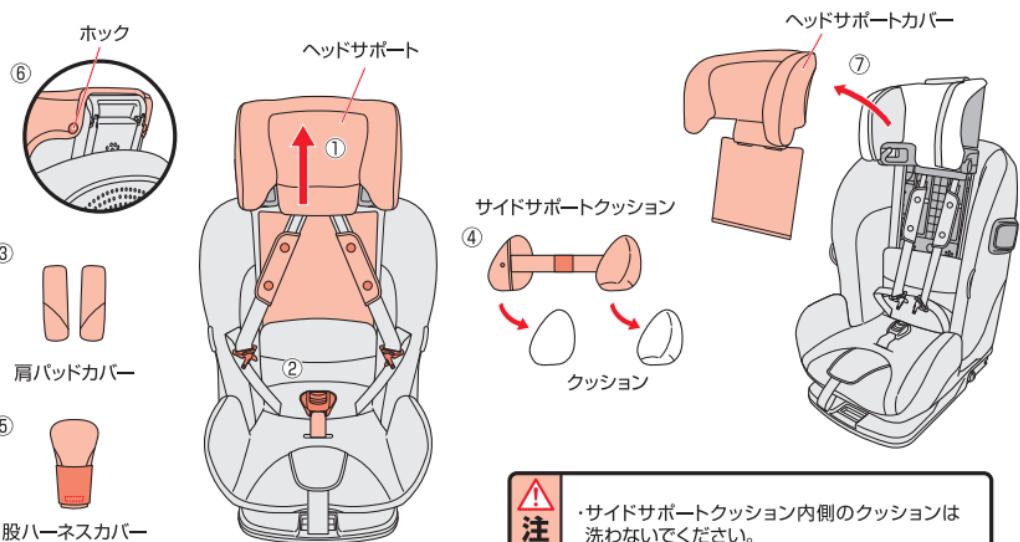
腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通していること。



# シートカバーの取り外しかた

1

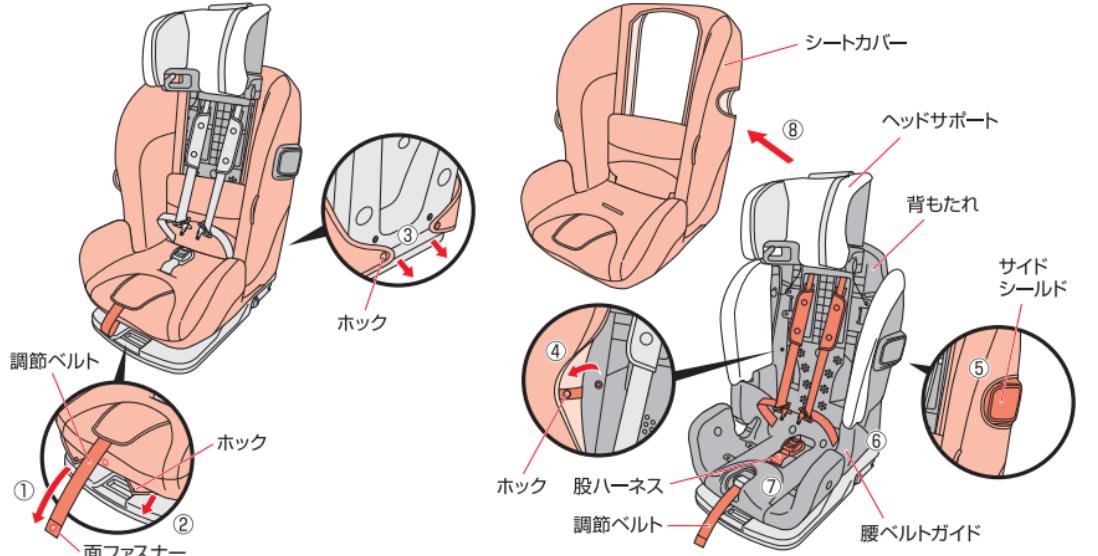
- 〈肩パッドカバー・股ハーネスカバー・サイドサポートクッション・ヘッドサポートカバーを取り外す〉
- ①肩ハーネスをゆるめ、ヘッドサポートを最上段まで上げる。
  - ②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
  - ③肩パッドカバーを取り外す。(P24参照)
  - ④サイドサポートクッションを取り外し(P24参照)、ホックを外し、内側のクッションを取り出す。(左右)
  - ⑤股ハーネスカバーを取り外す。(P43参照)
  - ⑥ヘッドサポート背面のホックを外す。(左右)
  - ⑦ヘッドサポートカバーを取り外す。



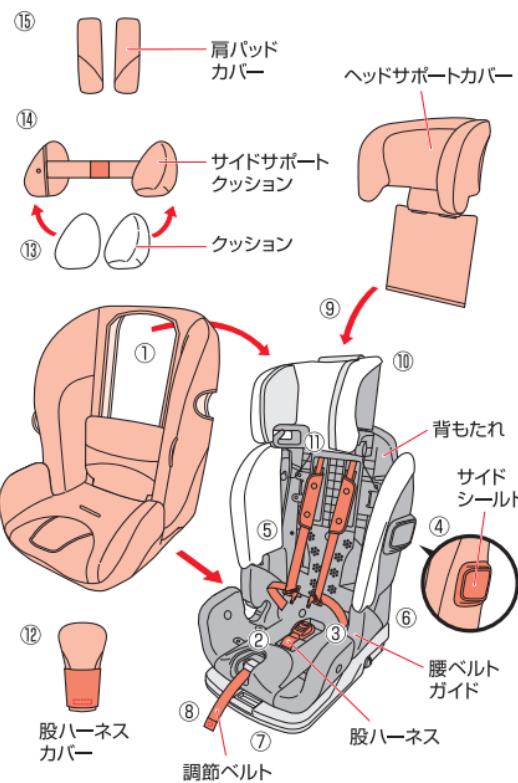
2

- 〈シートカバーを取り外す〉

- ①調節ベルトの面ファスナーを外す。
- ②シート部前側のホックを外す。(2カ所)
- ③背もたれ部背面のホックを外す。(2カ所)
- ④背もたれ部横側のホックを外す。(2カ所)



# シートカバーの取り付けかた



## 1

### 〈シートカバーを取り付ける〉

- ①ヘッドサポート上部からシートカバーをかぶせる。
- ②股ハーネス、調節ベルトを通し穴に通す。
- ③腰ベルトガイド部にシートカバーをかぶせる。
- ④サイドシールド部にシートカバーをかぶせる。
- ⑤背もたれ部横側のホックをとめる。(2力所)
- ⑥背もたれ部背面のホックをとめる。(2力所)
- ⑦シート部前側のホックをとめる。(2力所)
- ⑧調節ベルトの面ファスナーをとめる。

## 2

### 〈ヘッドサポートカバーを取り付ける〉

- ⑨ヘッドサポートカバーをかぶせる。
- ⑩ヘッドサポート背面のホックをとめる。(左右)
- ⑪肩ハーネスを背もたれカバー(上部)に通す。(左右)

### 〈股ハーネスカバーを取り付ける〉

- ⑫股ハーネスカバーを取り付ける。(P43参照)

### 〈サイドサポートクッションを取り付ける〉

- ⑬内側のクッションを取り付け、ホックをとめる。(左右)
- ⑭サイドサポートクッションを取り付ける。(P24参照)

### 〈肩パッドカバーを取り付ける〉

- ⑮肩パッドカバーを取り付ける。(P24参照)

・取り付け後、リクライニング操作をしてもシートカバー クッションの浮きが無いことを確認してください。



- ・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- ・シートカバーを取り外した状態で使用しない。

# お手入れ／保管／廃棄のしかた

### 〈シートカバー、肩パッドカバー、股ハーネスカバー、トップテザー保護パッド、ヘッドサポートカバー、サイドサポートクッションの洗濯〉

サイドサポートクッション内側のクッションを取り外してください。



※ねじり又は絞り禁止

### 〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



- ・本装置やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

### 〈保管するときは〉

- ・本製品を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



- ・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

### 〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

#### 〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。

#### 〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

お手入れ

### 〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

# 困ったときには

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

## 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P56「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ[ <a href="https://www.aprica.jp/">https://www.aprica.jp/</a> ]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P11、P12「座席の条件」参照) 取り付けできない座席については、「座席の条件」(P13)、「シートベルトの条件」(P15)を参照ください。

## 〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。 (異音の原因にもなります。)	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。(P27~32「取り付けかた」参照)
何度も取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P56「アフターサービスについての連絡先」参照)	
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P27「取り付けかた」参照)

## 〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。 (P37「肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた」、P38「肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安」参照) 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
シートベルトの「ねじれ」が取れない。	お子さまが股ハーネスの上に乗っていないことを確認し、お子さまの腰を座面の奥まで移動させてください。(P40「チャイルドシートモード」「お子さまの乗せかた」参照)
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 (P46「ジュニアシートモード」「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 (P41「お子さまの乗せかた」参照)
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 (P40「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P56「アフターサービスについての連絡先」参照)
	修理対応が必要です。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。 (P56「アフターサービスについての連絡先」参照)

## 〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
リクライニングレバーが引きにくい場合は、シート部を軽く押すと引きやすくなります。	リクライニング部にゴミなどがはさまっていないかを確認してください。
リクライニング操作ができない。	3段目にセットできない場合は、テザーベルトを緩めるとセットできます。 セット後は必ずテザーベルトを締めてください。
ヘッドサポートが上がらない。	肩ハーネスをゆるめてから、ヘッドサポートの高さ調節を行ってください。 (P39「肩ハーネスをゆるめる」参照)

## 〈保証期間とアフターサービス〉

### ・アフターサービスについて

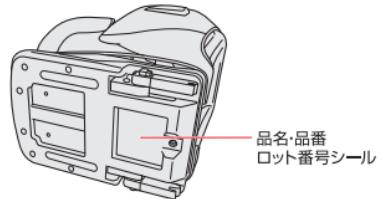
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します  
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。  
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、  
**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



## アフターサービスについての連絡先

ニューウェルプランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー用品 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) **TEL 0570-004-155**

受付時間: AM10:00~PM5:00 (土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

お買い上げ時レシート  
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

